

大陸への進出

19世紀末、欧米列強は大義なき植民地獲得を始めた。これを「帝国主義」と呼ぶ。「文明国か否か」は、欧米列強の支配を免れる基準ではすでになくなっていった。国力が物を言う時代、日本も日露戦争で獲得した利権で帝国主義の渦に飛び込み、領土獲得による国力強化を目指した。それは、日本の命運を決める分岐点であった。

○日本と大韓帝国

●韓国の保護国化

ロシアは、⁽¹⁾ _____ 条約で、大韓帝国に対する日本の諸権限を認めた。

→大韓帝国が大国に再び接近しないように、日本はその保護国化を急いだ。

⇒次の2国も、日本が大韓帝国を保護国化することを認めた。

①アメリカ…1905年、⁽²⁾ _____ 締結

②イギリス…1905年、⁽³⁾ _____ 改定

◇保護国化…外国の干渉防止を目的に、外交権をもたない国にすること

↓
1905年、⁽⁴⁾ _____ 締結

…①大韓帝国の外交権を獲得

…②首都漢城（現ソウル）に外交を統轄する⁽⁵⁾ _____ を設置

…初代統監は⁽⁶⁾ _____

◇第一次日韓協約…日露戦争中、日本の軍事制圧下で締結した協約で、

日本の推薦する財政・外交顧問採用を約束

↓
1907年、⁽⁷⁾ _____

…大韓帝国皇帝高宗が、オランダのハーグでの万国平和会議に、非公式に使いを送り、保護国化の無効を欧米列強に訴えた事件

…大韓帝国が外交権をもたないため、欧米列強は訴えを無視

↓
1907年、⁽⁸⁾ _____ 締結

…皇帝高宗が（7）の責任で退位したことを契機に締結した協約

…①大韓帝国の内政権を獲得

…②大韓帝国の軍隊を解散

●義兵運動の高揚

大韓帝国では、民衆による反日武装闘争⁽⁹⁾ _____ が生じていた。

⇒第三次日韓協約で解散した旧軍隊が（9）に加わり、運動は全国化した。

●韓国の植民地化の方針

次の主張から、日本政府内で大韓帝国の植民地化の賛否が議論された。

①満州に関心を示したアメリカが、韓国にも干渉する可能性あり

②国力強化のために、朝鮮半島を足がかりに大陸へ進出する必要性あり

⇒1909年、大韓帝国を植民地化する方針が決まった。



図1 新日英同盟記念絵葉書
*三越呉服店のPR用



図2 (左) 韓国皇太子と伊藤
図3 (右) 韓服をまとう伊藤



図4 密使の3人



図5 高宗



図6 義兵運動

●暗殺事件

1909年10月、ロシアとの会談に向かう⁽¹⁰⁾ _____ が、
⁽¹¹⁾ _____ 駅で義兵運動家⁽¹²⁾ _____ に暗殺された。



図7 安重根

●韓国の植民地化—韓国併合

1910月、⁽¹³⁾ _____

…日本による大韓帝国の植民地化

…首都⁽¹⁴⁾ _____ を京城と改称し、統治機関⁽¹⁵⁾ _____ を設置

…当初、朝鮮総督は現役軍人から任命され、初代は⁽¹⁶⁾ _____



(16) は、⁽¹⁷⁾ _____ を進め、土地の測量や所有権の確認をした。

⇒所有権が不明確な土地は接収され、その一部は、日本人地主や

1908年に設立した国策会社⁽¹⁸⁾ _____ に払い下げられた。

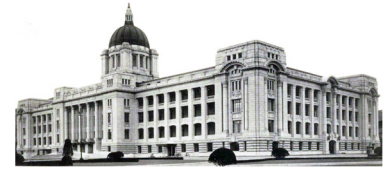


図8 朝鮮総督府



図9 東洋拓殖会社



幕末を駆け抜けた巨頭—伊藤博文

伊藤博文は、明治天皇の信任厚く、初代内閣総理大臣・初代統監を務めた。朝鮮人の恨みを買うことを十分承知しながらも、その政治の腐敗を正すために統監として保護国化を進めた。併合には反対しており、仮に併合しても韓国が国力をつけるまでと期限付きで考えていた。死の間際、朝鮮人の犯行と聞いて「馬鹿な奴だ」とつぶやいた。

○日本と満州

●日本の満州進出

ポーツマス条約で、日本は満州に関する次の権利を得た。

- ①清からの⁽¹⁹⁾ _____ ・⁽²⁰⁾ _____ の租借権
- ②東清鉄道の長春以南とその付属の利権（沿線の幅約62mの土地）



半官半民の国策会社⁽²¹⁾ _____ （略称：_____）が、
 大連に設置され、初代総裁は後藤新平が務めた。

→(21) は、旅順・長春間の旧東清鉄道と沿線の炭鉱などを経営した。

⇒1906年、旅順・大連を含む遼東半島南端⁽²²⁾ _____ と満鉄附属地を統治する
⁽²³⁾ _____ が旅順に設置された。

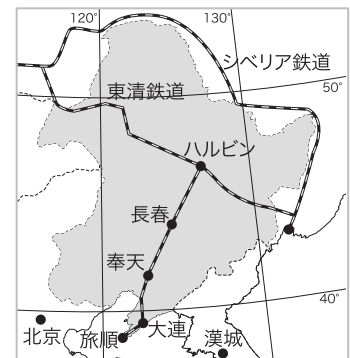


図10 満州と東清鉄道
 ＊色塗り部分が「満州」

●アメリカの満州への関心と日本人蔑視

アメリカも満州に関心を示し、門戸開放を唱えて日本の独占状態の廃止を訴えた。

- ①1905年、アメリカ鉄道企業家ハリマンが、満鉄共同経営を提案
 - ②1909年、アメリカ政府が、満鉄の中立化を列強に提唱
- ⇒日本がこれらを拒否すると、日米関係は急速に悪化していった。



⁽²⁴⁾ _____ 黄禍論に基づくアメリカ人の日本人蔑視は、満州をめぐる対立で表面化した。

→カリフォルニアを中心に、日本人移民排斥運動が高まった。

⇒1906年には、⁽²⁴⁾ _____ で日本人学童の入学拒否事件が起きた。



図11 日本人移民への警戒